



自立・敬愛・創造



学びに向かう力を育み、ともに励みあう学校

和田山中学校学校だより 令和7年3月12日号

厳しい寒さが続いていましたが、3月に入り寒暖差はありますが日中は温かな日差しが降り注ぎ、温かくなってきました。第78回卒業証書授与式が終わり、3年生が卒業し1・2年生での学校生活となり、少し寂しさを感じています。3年生がいなくなりましたが1・2年生中心に生徒会活動など、精力的に取り組んでいます。卒業した3年生は、本日が公立高校の学力検査となっています。合格発表は3月19日(水)です。それぞれの生徒が志望高校の合格ができればと願っています。

今年度も残りあとわずかとなりましたが、保護者の皆様には、お世話になります、よろしくお願いいたします。

[第78回卒業証書授与式]

3月10日(月)に第78回卒業証書授与式を挙行了しました。先週は冷たい雨やみぞれが降っていましたが、天候にも恵まれ、卒業生たちを見送ることができました。106名の卒業生が和田山中学校から旅立っていきました。卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。今後の飛躍を祈っています。



卒業証書授与式、卒業生見送りの様子

<送辞>

身に染みる寒さも次第に和らぎ、暖かい春の訪れを感じる、このよき日に、和田山中学校をご卒業される、卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。

卒業証書を受け取られた今、三年生の皆さんは、この和田山中学校で過ごされた三年間をどのように思い返していらっしゃるでしょうか。多くの人に出会い、ともに成長し、様々な思い出を築き上げてこられたことと思います。

先輩方は、私たちの頼れる先輩として、常に私たちの前を歩き、手本となってくださいました。先輩方と過ごした日々は私たちにとっても、かけがえのないものになりました。

先輩方と過ごした日々を思い返すと、様々な思い出がよみがえってきます。

体育祭では、最高学年としてリーダーシップを発揮し、後輩の私たちを引っ張ってくださいました。先輩方が夏休みから準備されていた「和志成願」では、黄、青、緑のすべての団の熱意と工夫が観覧席まで伝わり、練習の時以上の笑顔あふれる表情と、最高の表現に感動を覚えました。また、各団のテントから聞こえてくる、活気あふれる応援や、全力で競技に取り組む姿は、体育祭スローガンでもある「百花繚乱」そのものでした。準備や練習で積み重ねてこられたものを、つぼみがふくらみ咲いていく花々のように、体育祭当日に会場いっぱいに開花され、その姿に圧倒されました。

今年度の文化祭は、ジュピターホールの修繕工事のため、体育館で行われました。全校生徒による合唱「大地讃頌」では、三年生の皆さんが中心となって、練習に励み、本番で全校生徒一人一人の声を合わせた合唱となりました。また、三年生の学年合唱の「なつかしい未来」を聴いたとき、先輩方の強い絆を感じ、圧倒された記憶は今でも鮮明に焼き付いています。演奏が始まった瞬間、三年生の皆さん全員が、心を込めて歌われていることが感じられ、美しく、素敵な合唱が和田山中学校の体育館に響きわたっていました。

先輩方と全力で取り組んだ部活動では、練習にも真摯に向き合い、私たち後輩が分からないことにも、優しく、丁寧に教えてくださいました。先輩方のおかげで、日々の練習にも、前向きに、全力で取り組みました。

私たちは、先輩方の後姿をたくさん見てきました。先輩方の大きな背中に、「どんな壁でも超えてく」という逞しさがあり、後輩の私たちにも安心感を与えてくださいました。

先輩方が創り上げてくださった和田山中学校の伝統は、後輩の私たちが引き継ぎ、さらに発展させていきます。

本日、和田山中学校を卒業され、次の一步を踏み出そうとしている先輩方へ。

最後に私の好きな言葉をお送りします。この言葉は、わずか1歳で音と光を失い、7歳まで言葉の存在を知らなかったヘレン・ケラーさんの言葉です。

「決して屈しない心を持ち続けなさい。どんなに小さな努力でも、あなたの未来を明るくするのです」

この三年間で、楽しいことだけではなく、つらいこと、大変だったこともたくさんあったと思います。後悔することもあるかもしれませんが。

しかし、この先、どんなことがあったとしても、先輩方の優しい笑顔と、前向きな希望と、生きている今を大切にしながら、未来へ進んでください。

最後になりましたが、先輩方のご健康と、さらなるご活躍を心から祈念して、送辞とさせていただきます。

本当にありがとうございました。

令和七年三月十日

在校生代表

<答辞>

息を白く染める冷たい空気もいつの間にか和らぎ、自然の緑にも春のおとずれを感じる今日
のよき日、僕たち一〇六名は、思い出多き和田山中学校を卒業します。

振り返るとあふれ出してくる記憶の数々。長いようで短かったこの三年間。僕たちにはたく
さんの思い出ができました。

三年前の春、期待と不安を胸に僕たちはこの和田山中学校に入学しました。入学式では多く
の方に見守られながら入場したのを今でも覚えています。中学校最初の学年レクリエーション
では、緊張で何も話せなかったけど、最後には皆が、笑顔で、新しい友とのきずなが生まれま
した。わくわくオーケストラでは、プロの方々の迫力のある演奏が心に響き、言葉に表せない
ほど感動しました。何もかもが新鮮で一年間があつという間に過ぎていきました。

二年生では、初めて先輩の立場になり、トライやるウィークに行きました。ここでは、実際
に働いてみて、働くことの大切さや大変さだけでなく、時間を守ること、仕事に対して懸命に
取り組むことなど、社会に出るにあたっての心構えについても学びました。仕事をしていく中
で、最初は難しさを感じました。しかし、やり遂げることで、しだいに達成感ややりがいも感
じることができました。そして、改めて親に対して感謝の気持ちを実感する機会にもなりまし
た。

三年生の一年間は、今まで感じたことのないほどの速さで過ぎていき、今日卒業の日を迎え
ることができました。振り返ってみると、生徒会や行事、部活動など、様々な場面で前に立つ
機会が増え、和田山中学校の顔としての自覚が芽生えました。

その中でも、修学旅行が記憶に残っています。東京に初めて行く人も多く、楽しみな反面、
緊張や不安もありました。仲間と協力し、計画を立てることで、その緊張や不安をやわらげ、
都会でも自分たちだけで班活動をするという貴重な体験ができました。他にも新幹線や街の風
景、ディズニーランドなどすべてが一生の思い出で、仲間との絆がなければ、この思い出はあ
りませんでした。

体育祭では、団リーダーを中心に夏休みの間から和志成願を考え、三年生全員で協力して練
習や準備をしてきました。迎えた本番では、スローガンの「百花繚乱」のようにみんなの個性
があふれ、様々な花を咲かせることができました。

文化祭では、ジュビターホールで歌うことができず、体育館開催となりました。そんな中、
今年から始まった全校合唱。三年生はクラス合唱・学年合唱・全校合唱と、三曲覚えました。
最初は、曲を覚えられなかったり、音が一つにまとまらなかったりと、正直くじけそうになる
時もありました。しかし、そんな時でも周りには仲間がいました。パートリーダーを中心に皆
で協力し、本番では一曲一曲に心をこめて歌い進めることができました。

今日、僕たちはこの和田山中学校を卒業します。この日を迎えられたのはたくさんの方々のお
かげです。

三年間、優しく、時には厳しくご指導いただいた先生方。失礼な態度をとってしまったたり、
迷惑をかけてしまったたりすることもありました。それでも、いつも僕たちのことを第一に考え
てくださり、多くの場面で支えられました。先生方と過ごした思い出は忘れません。これから
も先生方に教わったことを胸に「一歩」また「一歩」と歩み続けていきます。

そして、これからの和田山中学校を創っていく在校生の皆さん、頼りない先輩だったかもし
れませんが、今まで僕たちについてきてくれてありがとうございました。これからの和田山中学
校は自分たちの代よりもっと、もっとよくなっていくと期待しています。

十五年間、僕たちのことを一番支えてくれた家族、素直になれなかった日、ケンカしてしま
った日、心配をかけてしまった日、それでも、全力で応援してくれた日、たくさんほめてもら
った日、そばにいてくれた日、その一つ一つが、幸せな日々だったと感じています。本当に感
謝の気持ちでいっぱいです。これからもたくさん迷惑や心配をかけるかもしれませんが、よ
ろしく願います。

最後に、三年間共に過ごした仲間たち。本当にありがとう。皆と出会ったことで楽しい三年
間を過ごすことができました。悔しい思いやつらい経験をしたこともありました。でも、集中
して受けた授業、たくさん笑った休み時間、みんなで協力した行事、そのどれもが僕にとって
よい思い出で、かけがえのない宝物になりました。

僕はこの和田山中学校を離れたくはありません。いつまでもこの楽しい日常が続き、苦楽を
共にした仲間たちがそばにいてほしい気持ちでいっぱいです。ですが、私たちは前に進んでい
かなければなりません。

私たちはまだ、未完成です。この三年間僕たちは多くのことを学び、多くのことに挑戦し、多
くの失敗や経験を重ねてきました。その度に成長してきました。これからも僕たちの人生には
たくさんの乗り越えるべき壁が現れると思います。しかし、そのすべての壁を乗り越えられる
とは限りません。失敗に終わるかもしれません。それでも、私たちはこの和田山中学校で得た
経験や学び、そして、この仲間たちとの絆を胸の中に刻んで、さらに、成長していきます。明
日から僕たちは、自分たちの夢に向かって歩んでいきます。

素晴らしい出会いをくれた和田山中学校、私たちのためにこんなにも立派な式を挙げてくだ
さった皆様、本当にありがとうございました。最後に感謝の意を表して答辞とさせていただきます。

令和七年三月十日
卒業生代表

＜和田山中学校文化賞・文化関係表彰結果＞

和田山中学校文化賞は、和田山中学校在籍中に最終学年(新人大会は2年生)で文化面やスポーツ面、さらには社会的な面で大きく功績のあった生徒に贈られています。本年度は2名が和田山中学校文化賞を受賞しました。卒業式の練習後、全校生徒に紹介をさせていただきました。そして、今年度も受賞者へは和田山ライオンズクラブから記念品をいただきました。また、和田山ライオンズクラブの皆様には、地域でのボランティアでお世話になっており、本校生徒が地域に貢献できる機会や、生徒の自己有用感を育む機会を与えていただいています。本年度も2月22日(土)に竹田城清掃ボランティアを予定し、多くの生徒が参加する予定でした。しかし、残念ながら昨年度同様に降雪のため、中止となってしまいました。今後も、和田山ライオンズクラブさんには本校生徒が地域活動を継続していくように支援していただきます。よろしくお願いいたします。

令和6年度和田山中学校文化賞 受賞者

第39回 兵庫県中学校ソフトテニス新人大会 第2位

2名

第74回社会を明るくする運動作文コンテスト

表彰名	表彰結果	
社会を明るくする運動	入選	3名

第56回但馬中学校書き初め大会

表彰名	表彰結果	
但馬中学校 書き初め大会	優秀賞	2名
	特選	3名
	入選	12名
	佳作	13名